

令和3年度シラバス (国語・国語総合)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	4	必履修

教科書 (出版社)	学習書・他教材
『明解 国語総合 改訂版 (三省堂)』	『常用漢字オールクリア (尚文出版)』

学 習 目 標
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	試験範囲
1 「ベトナムのコーヒー屋」 (4時) 2 「とんかつ」 (10時) 3 「古典の響き」 (4時) 4 「古文入門」 (12時)	1は、できごとと想いを結びつけて捉える。2は、本文中の記述に基づいて根拠をもって心情を推測することを目標とする。3で旧仮名遣いに慣れ、古典基礎を身に付ける。4で古文に親しませる。	前期中間
5 「バスに乗って」 (12時) 6 「コイネリゼン」 (13時) 7 「故事成語」 (9時) 8 「表現・話す・聞く」 (6時)	5では、長めの文章を読み、登場人物の心情、行動、性格を正確に把握する。6では、構成に着目して出来事を捉え、筆者の想いを読み取ると同時に、戦時中の生活について考えを深める。7では、漢文訓読の基礎を身に付け、日常的な言葉と漢文の関係に気付かせる。8では、話す聞くの表現基礎をトレーニングする。	前期期末
9 「徒然草」 (8時) 10 「伊勢物語」 (10時) 11 「羅生門」 (11時) 12 「表現編・書く」 (6時)	9、10では、背景知識に触れ、古文の世界についての理解を深める。11では、場面の推移と登場人物の心情の移り変わりとの関連を捉える。12では、発見や変容を文章に書き相互評価する。	後期中間
13 「史話を読む『三国志』の人々」 (10時) 14 「水の東西」 (12時) 15 「なめとこ山の熊」 (10時) 16 「新聞に投書しよう」 (3時)	13では、2つのエピソードを通して、武帝の人物像を推測する。14は、論理構成に着目して、主張を読み取ることが目標とする。15では、物語の中に現れる生命観や人間観を学ぶことで、自己の生き方を見つめ直すきっかけとする。16では、身の周りや社会に目を向け意見をまとめて責任ある表現をすることを目指す。	後期期末

計 140 時間 (50 分授業)

評価規準と評価方法				
評価は、次の5観点から行う。				
① 関心・意欲・態度	② 話す・聞く能力	③ 書く能力	④ 読む能力	⑤ 知識・理解
授業に積極的に参加し、言語文化に対する関心や理解を深め、国語を尊重しようとしている。	目的や場に応じて効果的に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、自分の考えを深化、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や規則、漢字について理解し、知識を身に付けている。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、授業の取り組み姿勢・課題やのノートの提出状況と評価・定期考査の点数等から評価します。				

授業の進め方、課題・提出物など
単元ごとに課題やノート提出があります。それぞれ、定期考査とともに評価の対象になり、平常点に組み込まれます。

担当者からのメッセージ
高校国語の基礎的事項を習得し、次年度以降の発展的科目を学ぶ土台としてください。

